

岩手県公立高

- 1** 【解き方】(1) 愛媛県は、みかんの生産がさかんなので「果実」に注目。アは「米」の生産がさかんな東北地方の秋田県。イは近郊農業で「野菜」の栽培がさかんな茨城県。エは酪農がさかんな北海道。
- (2) アの標高は 71.4m。ウの「北西」は、北東の誤り。エの直線距離 500m は「2 万 5 千分の 1」の地形図上では長さ 2cm にあたるが、ここでは 2cm よりも長いことがわかる。
- (3) 中国・四国地方の気候は、山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域に分けられる。瀬戸内は、年間を通じて温暖で降水量が少なく、農業用水などが不足することがある。
- 【答】(1) ウ (2) イ (3) 瀬戸内〔海側〕は降水量が少ないので、農業用水をためておく必要があるから。(同意可)

青森県公立高

- 2** 【解き方】(1) 最も面積が広い a が北海道地方、人口が最も多い d が関東地方。九州地方の面積は、北海道地方の面積の約 2 分の 1 であることから c が九州地方。残る b が中部地方。
- (2) ア. 軽石や火山灰などの白色の火山噴出物がたい積している。イ. 栄養が少なく水はけが良すぎる土質のため稲作には不向きであり、特に畜産業が盛ん。
- (3) ア. 水俣病は化学工場の排水に含まれたメチル水銀によって水俣湾が汚染されたことで発生した公害病。イ. 京都市や北九州市なども環境モデル都市に選定されている。
- (4) ゲリラ豪雨などに対応するため、各地に雨水貯留施設がつけられている。
- 【答】(1) c (2) ア. シラス イ. 4 (3) ア. 2 イ. 環境モデル都市 (4) 雨水を一時的にためて、洪水を防ぐ(同意可)

栃木県公立高

- 3** 【解き方】1. 1872 年から 1914 年までの時期の社会状況に当てはまらないものを選ぶ。イの「工場制手工業」は、江戸時代後期から始まっていた。
3. アは 1943 年、イは 1941 年、ウは 1932 年、エは 1938 年のできごと。
4. 1950 年代半ばから始まった高度経済成長期に普及した家電製品を選ぶ。アの電気冷蔵庫は 1950 年代後半ごろ、白黒テレビと洗濯機とともに「三種の神器」として普及した。
5. 第四次中東戦争をきっかけに、1973 年に第一次石油危機がおこった。
6. 1967 年には公害対策基本法が成立し、1971 年には環境庁が設立されるなどし、政府の環境対策も徐々に始まっていった。
- 【答】1. イ 2. ウ 3. ウ→エ→イ→ア 4. ア 5. 石油危機(または、オイルショック) 6. 高度経済成長によって収入が増加し、生活も便利で豊かになっていったが、大気汚染や水質汚濁などに関する苦情・陳情の数も増えるなど、公害問題が深刻化した。(同意可)

福岡県公立高

- 4** 【解き方】問 1. 1914 年に始まった第一次世界大戦の影響で、日本はアジア諸国に市場を広げ、欧米列強からの物資の注文も多くなり輸出超過となった。
- 問 2. Y の期間に、日本が満州事変、日中戦争、太平洋戦争を経験していることから考えるとよい。資料Ⅳにある 1932 年の五・一五事件以降、政党内閣は途絶え、軍部による政治介入が強まっていった。
- 【答】問 1. ① P ② 第一次世界大戦により、輸出が増えた(同意可) 問 2. 政党内閣が終わり、軍部が台頭した(同意可)